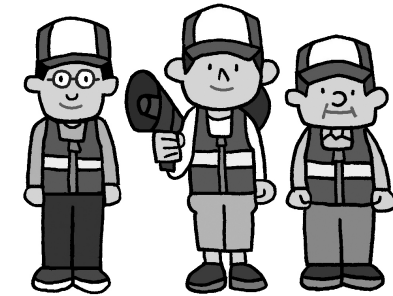


アバンドーネ原5番街 防災マニュアル

地震など広域にわたる大災害のときは、行政・消防機関の対応が遅れることが予想されます。
住民のひとりひとりが助け合って自分の命と、自分たちの地域を守りましょう！



1. 日ごろからの準備 [家族で話し合い、防災意識を高めておく]

○家族で役割分担、災害時の連絡方法を決めておく。

居住地から離れた親戚などを拠点とする連絡網づくりや「SNS」・「災害伝言ダイヤル」・「防災行政無線テレホンサービス」などの利用方法などを確認。

○家族の写真や住所・氏名のわかるものを携帯する。

特に要配慮者の方は、連絡先・血液型・常用薬・アレルギーの有無・かかりつけの医療機関などがわかるカードを身につけておくといよい。

○家の中に安全な空間をつくる。家具の転倒防止や落下物がないかなどの点検・整理を行う。

○非常持ち出し袋を用意する。

○飲料水・食料を備蓄しておく。

缶詰・レトルト食品など、非常食3日分を含めてできれば7日分以上の食料、大人ひとりあたり1日3リットルを目安に最低3日、できれば7日分以上の飲料水を準備しておく。

○浴槽に水を張り、生活用水(トイレ用・洗濯用)を確保しておく。

○避難経路・避難場所を確認しておく。

○脱出用の工具(ハンマー・バール等)を準備しておく。

○消火器の設置と点検を行う。

○建物の防災設備の位置や使い方を理解しておく。

○電気のブレーカー、ガスの元栓の切り方などを確認しておく。

●災害伝言ダイヤル

携帯電話や公衆電話からも使用できます。家族どうしで一度試しておきましょう。



「171」+「1」+「電話番号(市外局番から)」

ガイダンスに従い 30 秒以内で録音



「171」+「2」+「電話番号(市外局番から)」

新しい伝言から順に再生

防災行政無線テレホンサービス
0800-800-0864 (通話料無料)

防災行政無線で放送した内容を電話(自動音声)で確認することができます。聞き取れなかった場合やもう一度放送内容を確認したい場合などにご利用ください。

- ・24時間以内に放送された内容と放送時刻を、新しい情報順に確認することができます。
- ・24時間以内に放送がない場合は「こちらは防災いんざいです。現在保存されている放送内容はありません」というメッセージが流れます。